

---

# 新型コロナウイルス 集団接種マニュアル

---

**ZERO-TEN**

令和3年7月

# 集団接種方法について

## 集団接種方法

### ① 宇美町方式



受付以降の予診、接種、接種後待機全てを同じ場所(席)で行う。医師が移動することで、接種者の負担を軽減するとともに、接種効率を高める運営方式。一人の医師で数多くの接種を実施できる。

### ② クリニック方式



受付、予診、接種、接種後待機全てのエリアを被接種者が移動する方式。少ない人数で運営が可能。被接種者に番号を割り振り、予診待機室と接種後待機室を同一の場所にすることで、狭いスペースでより多くの被接種者に対応します。

## ① 宇美町方式 概要

高齢者の移動を極力減らし被接種者の負担を軽減すると同時に、医師が移動しながら予診と接種を行うことで、短時間で数多くの接種を実現します。

受付



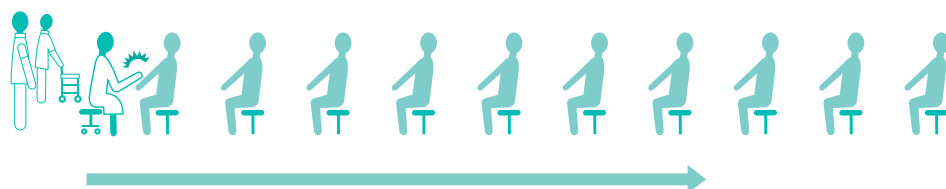
予診 / 接種 / 接種後待機所  
接種済証交付



VRS反映 / 予診票押印など



出口



# ① 宇美町方式 運営編成について

(医師1人あたり72名以上 / 1H)

従事するスタッフは大きく3種類に分けられます。「運営者」は主に被接種者の受付業務、誘導業務がメインとなります。「接種者」は医師による予診、接種、看護師による消毒、絆創膏貼り、ワクチン準備などがメイン業務。「記録者」は接種後に被接種者のVRSの反映ほか、町の予約システムへの反映、2回目の予約説明等を行うスタッフになります。それぞれが連携し、すばやい接種を実現します。

①  
運営者  
(受付/誘導スタッフ)



業務内容

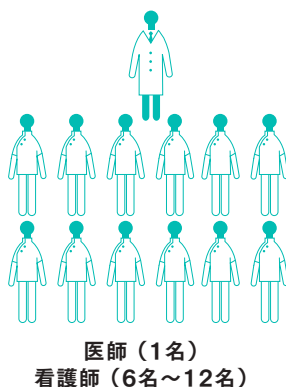
- 体温チェック
- 予診票記入チェック
- 受付
- 誘導(腕まくりなど接種の案内)

スタッフ人数

- 全体管理ディレクター (1名)
- 体温チェック (3名)
- 予診票チェック (5名)
- 受付 (3名)
- 誘導《次回予診説明兼務》(5名)



②  
予診(問診) / 接種者  
(医師/看護師)



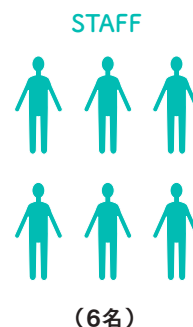
業務内容

- ワクチン準備(看護師)
- 予診票記入等相談(看護師)
- 接種部位の消毒(看護師)
- 予診(医師)
- ワクチン接種(医師)
- 絆創膏貼り(看護師)

スタッフ人数

- ワクチン準備~(6~12名) 看護師
- 予診 / 医師 (1名)
- 接種補助 / 看護師 (3名)
- 相談 / 経過観察 看護師 (3~6名)

③  
記録者  
(シール貼り / VRS読込)



業務内容

- 予診票・接種券のシール貼り
- タイマー渡し
- 次回予約案内  
※赤ヒモ(接種2回目の方の目印)を首からかけている方は案内しない。
- VRS読み込み・記録
- 日付、接種会場の押印(記載)

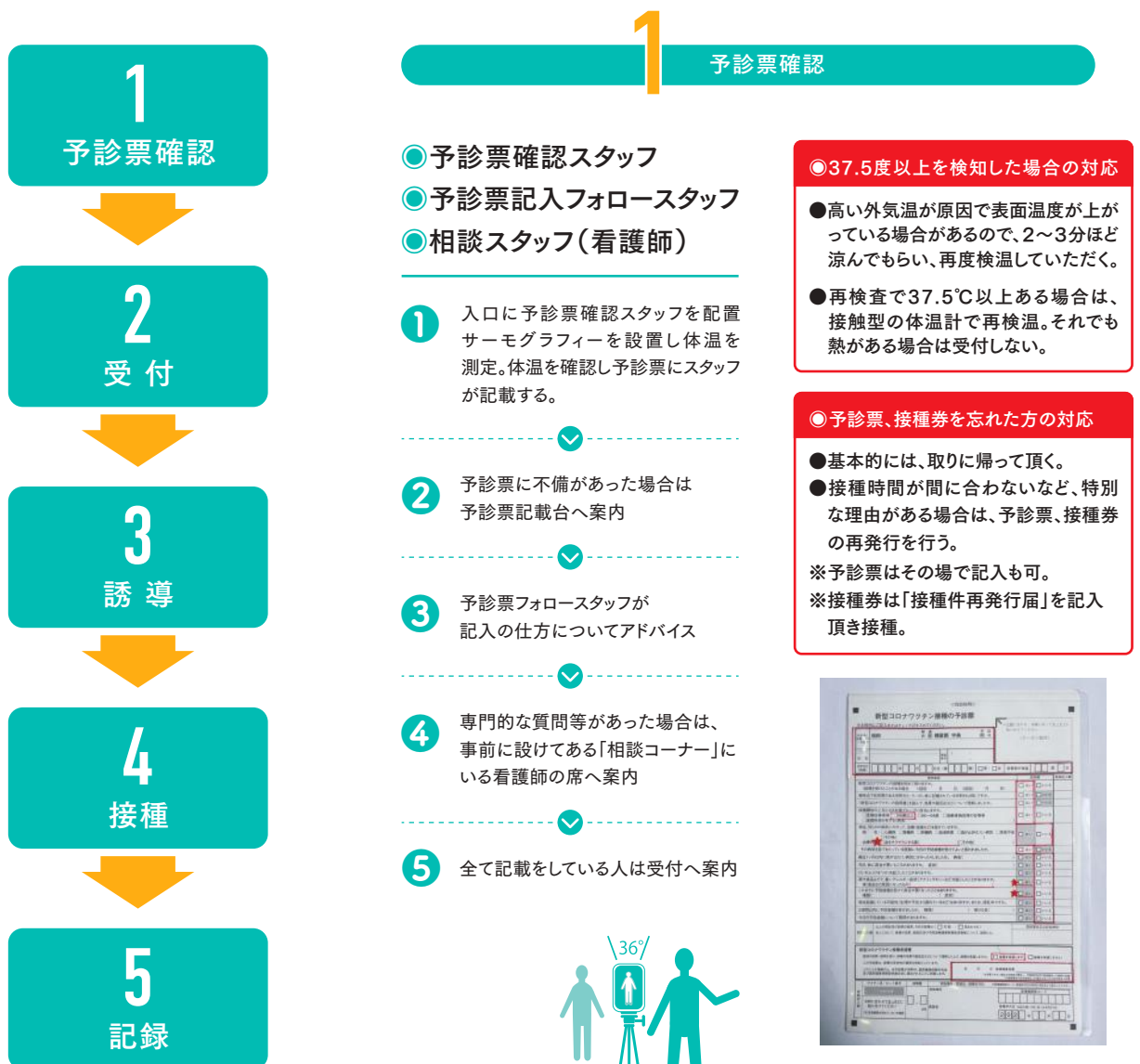
スタッフ人数

- 接種済み証交付スタッフ (4名)  
→VRS / 予約管理 / 押印兼務
- タイマー管理スタッフ (2名)  
誘導《次回予診説明兼務》

※運営スタッフを増員し医師との連携を高めることで被接種者を増やすことが可能

# ①宇美町方式 運営の流れ

運営者の主な仕事は、接種をスムーズに行うための予診票のチェックになります。受付で接種について問題ない状態まで確認を行い、接種する医師の負担を軽減します。ただ、接種していかどうかわからない状況が発生した場合は看護師による「相談」そして最終的には、医師の判断に任せます。また会場で自席についていただくために誘導を行います。不安な気持ちで会場にやってくる被接種者に対する精神的フォローも欠かせません。



# ① 宇美町方式 運営の流れ

## 2

### 受付

#### ●受付スタッフ

- 1 スタッフが予診票を確認。未記入事項がある接種予定者は、予診票記入エリアへ誘導し、全ての必要事項を再度記入いただく。

※予診票内の項目5番目「かかりつけ医師に予防接種を受けて良かったか確認をとったか」どうか未記入の被接種者に対する対応

- ①被接種者が「接種を受ける」と回答した場合  
→受付(予診票記入エリア)にて予診票に付箋を貼り、医師予診に回す。
- ②被接種者が「接種を受けない」と回答した場合  
→そのままお引取りいただき、かかりつけ医師の確認後再度予約を取っていただく。

## 2

受付スタッフは被接種者の下記内容を確認する。確認後問題なければ席番号札を渡し該当箇所へ着席いただくよう案内する。

#### ●接種券(接種券番号)

- お名前
- 生年月日

#### ●本人確認書類(身分証明書)

※本人確認書類を忘れた方は名前、生年月日・住所を接種券と照合し口頭確認でOK

※入場後外に出られなくなるので、トイレを済ませていただくように案内。どうしても外に出る必要がある場合は目印(紙バンド等)を着用させる。

※予診票を上、接種券を下にして所持いただく。

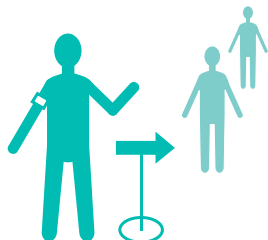
※2回目の被接種者の方には赤いストラップを首からかけて頂く。(2回目接種案内をしなくても良い方と区別)

## 3

アレルギー疾患を持つ方には予診票に付箋を貼り、被接種者の首からブルーのストラップをかける。その方の待機時間は「30分」となるので経過観察スタッフは意識しておく。使用したボールペン類は適宜消毒を施す。

## 3

### 誘導



#### ●誘導スタッフ

受付を終えた被接種者を接種会場へ誘導し、席番号札と同様の番号の席へ誘導する。

※(Aエリア・Bエリア)15P参照  
※使用した座席は予約時間毎に消毒を施す。



## 4

### 接種

- 医師(予診 / 接種)
- 看護師(消毒 / 止血貼)
- タイマー渡しスタッフ
- 次回予約・副反応案内スタッフ
- 接種済証交付スタッフ

- ①看護師：皮フ消毒

- ②医師：予診(問診)票確認  
ワクチン接種

- ③看護師：絆創膏貼り

- ④スタッフ：タイマーを渡し15分間の待機指示(30分待機指示の場合有※ブルーストラップ)

- ⑤スタッフ：接種券にワクチンロットナンバーシールを貼り被接種者に返却。予診票へ接種済証を貼る。

- ⑥スタッフ：副反応/次回予約チラシを渡す。

## 5

### 記録



- VRS入力スタッフ
- ロットナンバーシールスタッフ
- 会場 / 日付押印スタッフ

- ①予約システム内の接種者ステータスを「接種済み」に変更する。

- ②回収した予診票に、打ったワクチンのロットナンバーシールを貼る。

- ③接種記録システム(VRS)入力専用端末で接種券の読み取り作業を行う。



## ①宇美町方式 医療用カートのセッティングについて

医師が最もスムーズにミスなく問診、接種を行える環境を整えるためにカートを準備。移動する際の導線幅の確保、移動用の椅子も医師の接種を妨げないよう工夫が必要。セッティングに関しては各医師がやりやすいよう、会場等に合わせ現地にてカスタマイズしていくのが望ましい。

### ■カート



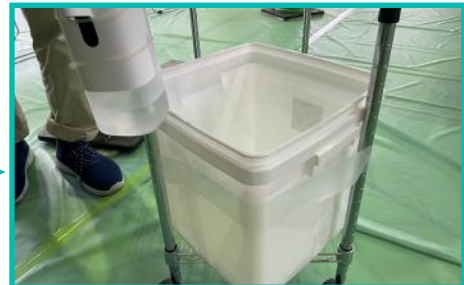
インターネットなど、どこでも手に入るスチールラックを使用。

### ■2段目



シリンジは取り出しやすいよう、手前を少し上げる。

### ■3段目



自動噴射式の消毒機をセット。シリンジを廃棄しやすいよう廃棄箱の端の部分は少しラックの外側に出す。廃棄箱はテープで固定。

### ■接種風景



キャスター付き椅子は市販のものを  
使用。足回りがよく軽量のものを使用。

接種動画はこちらを  
参照ください



<https://www.kuroda.tv/>

## ①宇美町方式 記録用カートのセッティング

カート上では接種券へのシール貼り記録のみを行い、予診票左下部分へのロットナンバー貼り付け、日にちの記載、接種会場番号の押印、医療機関コード(会場コード)の押印、医師名の押印などは、接種が落ち着く隙間時間で実施する。

### ■記録用カート

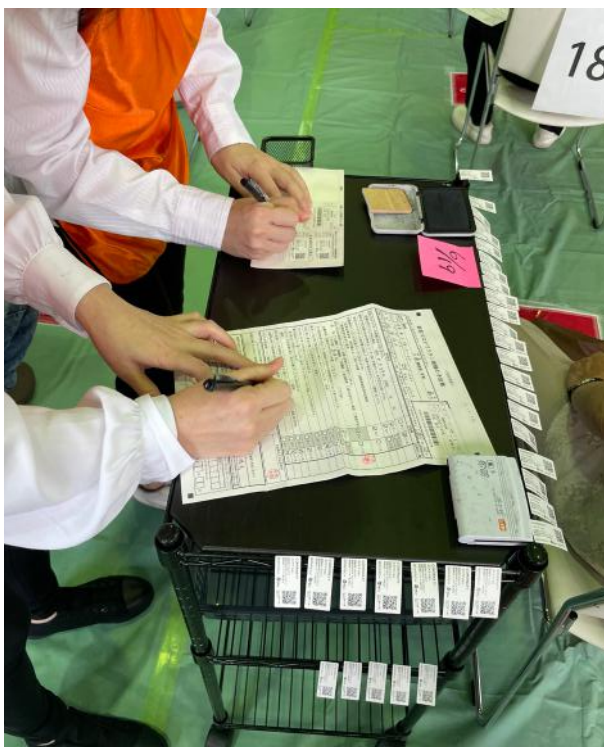


- 1 接種券に貼り付けるロットナンバーシールは貼りやすいようあらかじめセッティング。
- 2 予診票、接種券へ記載する日付を間違わないよう付箋を貼る。
- 3 接種券に記載する会場名は、時間短縮、ミス防止の観点から印鑑を使用する。



↑接種がひと段落して時間が空けば予診票左下にワクチンロットナンバーシールを貼る。剥がしやすいよう少し端を剥がしておく。

### ■予診票、接種券への記録、接種済証交付



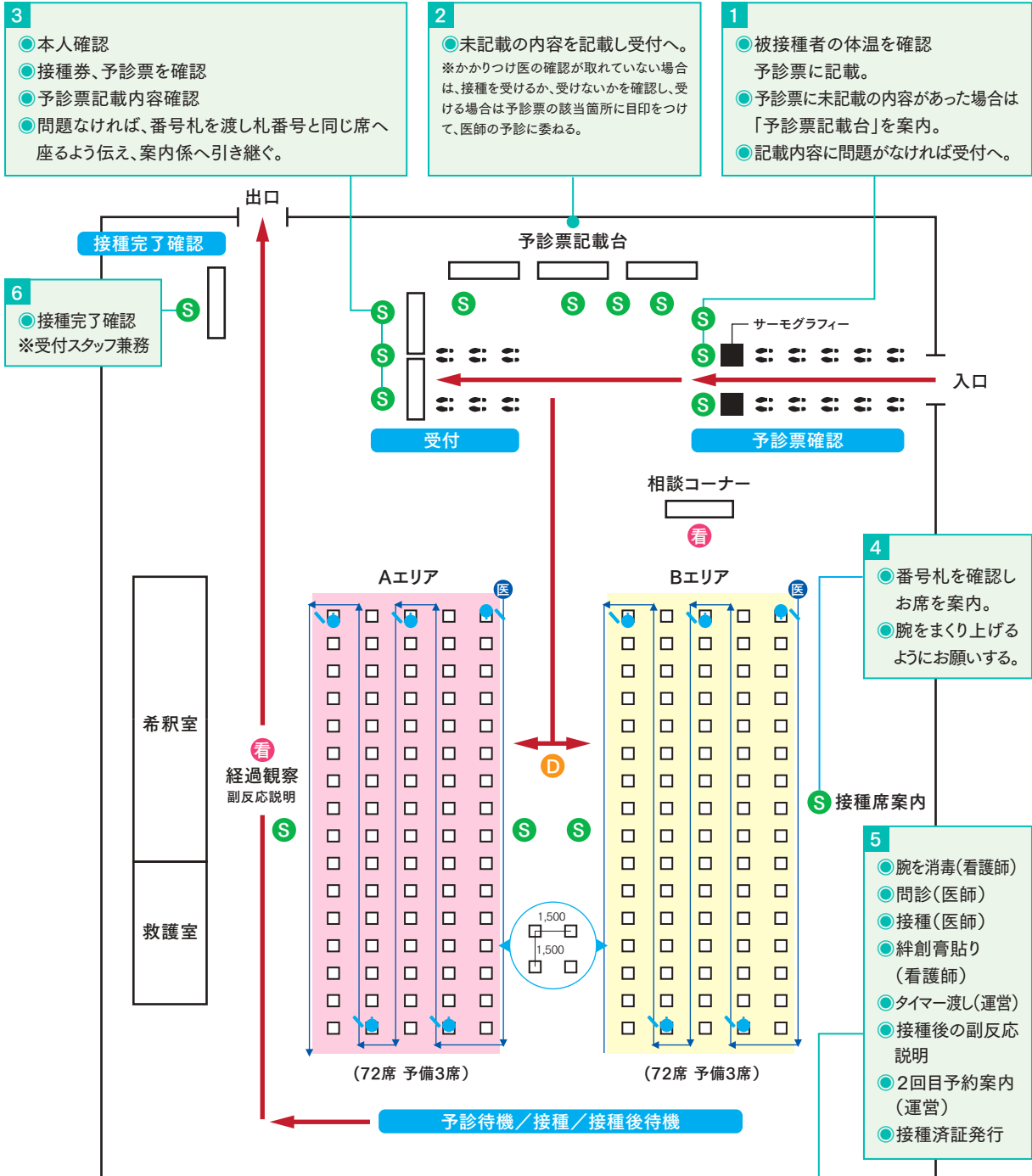
### ■隙間時間での予診票への記録、押印





# ①宇美町方式 会場図(例)

【凡例】 医 医師 看 看護師 D ディレクター S スタッフ ← 被接種者導線 → 接種者 接種導線



**■ 救護室**  
看護師が対象者のバイタルチェック、自覚症状の確認、アナフィラキシー症状の有無等を確認します。患者の状況によっては医師の診察、応急処置を行い、救急搬送の必要がある場合は、救急搬送を要請します。

**■ ワクチン希釈室**  
ファイザー社製ワクチンの場合、看護師がワクチンを規定量の生理食塩水で希釈し、必要量をシリンジに充填し医療用カートへ運びます。

**【接種チーム】**

- 医 問診/接種 医師 (1名)
- 看 看 消毒看護師/絆創膏貼り看護師 (各1名)
- S タイマー渡し (1名)
- S 2回目予約案内スタッフ (1~2名)
- S S 接種済証交付スタッフ(VRS兼務) (2名)

## ② クリニック方式 概要

予診待機所、接種後待機所を同じ場所にすることで会場をコンパクトに使用し、少ないスタッフでの運営に適している。

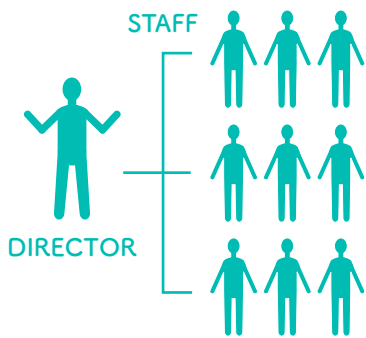


## ② クリニック方式 運営編成について

(医師1人あたり36名程度 / 1H)

接種するスタッフは下記の通り大きく3種類に分けられます。「運営者」は主に被接種者の受付業務、誘導業務がメインとなります。「接種者」は予診を行う医師と、ワクチン準備/接種に関わる業務を行う看護師によるチームです。「記録者」は接種済証の発行ほかVRSの反映等を行うスタッフになります。

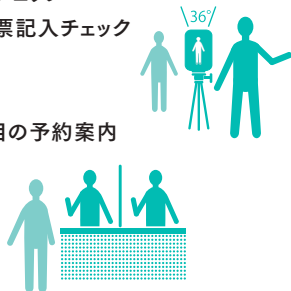
**①**  
運営者  
(受付/誘導スタッフ)



ディレクター (1名)  
運営スタッフ (9名)

**業務内容**

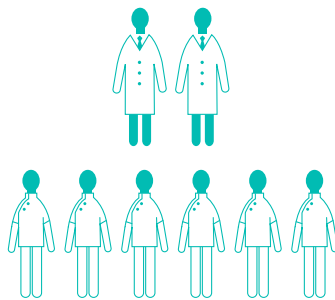
- 体温チェック
- 予診票記入チェック
- 受付
- 誘導
- 2回目の予約案内



**スタッフ人数**

- 全体管理ディレクター (1名)
- 体温チェック (2名)
- 予診票チェック (3名)
- 受付 (2名)
- 誘導 (2名) 予診待機案内 出入口案内

**②**  
予診(問診) / 接種者  
(医師/看護師)



医師 (2名)  
看護師 (6名)

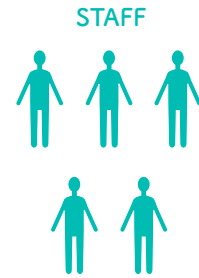
**業務内容**

- ワクチン準備 (看護師)
- 予診票記入等相談 (看護師)
- 予診 (医師)
- 接種部位の消毒 (看護師)
- ワクチン接種 (看護師)
- 絆創膏貼り (看護師)

**スタッフ人数**

- ワクチン準備 (4~5名) 看護師
- 予診 医師 (2名)
- 接種・接種補助看護師 (4名)
- 相談・経過観察 看護師 (1名)
- 接種後の注意事項と説明・経過観察 (2名)

**③**  
記録者  
(シール貼り / VRS読込)



運営スタッフ5名

**業務内容**

- 接種済証の発行 / 予診票の回収
- タイマー渡し
- 次回予約の案内
- 予診票への日付 / 接種会場の押印(または記載)
- 予約システム記録反映
- VRS読込み・記録



**スタッフ人数**

- 接種済証交付スタッフ (2名)  
→ 予診票へのバイアルロットナンバー貼付、VRS入力/予約管理/予診票接種者への押印(記入)/タイマー渡し
- 接種時に被接種者が使用した椅子を消毒 (1名)
- 次回予約説明スタッフ (2名)

## ② クリニック方式 運営の流れ

1  
予診票確認



2  
受付



3  
誘導



4  
予診室



5  
接種室



6  
接種済証交付



7  
接種後待機所

1

予診票確認



2

受付



- 予診票確認スタッフ
- 予診票記入フォロースタッフ
- 相談スタッフ(看護師)

1 入口に予診票確認スタッフを配置サーモグラフィーを設置し体温を測定。体温を確認し予診票にスタッフに記載する。



2 予診票に不備があった場合は予診票記入台へ案内



3 予診票フォロースタッフが記入の仕方についてアドバイス



4 専門的な質問等があった場合は、事前に設けてある「相談コーナー」にいる看護師の席へ案内



5 全て記入をしている人は受付へ案内

### ● 37.5度以上を検知した場合の対応

- 高い外気温が原因で表面温度が上がっている場合があるので、2～3分ほど涼んでもらい、再度検温していただく。
- 再検査で37.5℃以上ある場合は、接触型の体温計で再検温。それでも熱がある場合は受付しない。

### ● 予診票、接種券を忘れた方の対応

- 基本的には、取りに帰って頂く。
- 接種時間が間に合わないなど、特別な理由がある場合は、予診票、接種券の再発行を行う。

※予診票はその場で記入も可  
※接種券は「接種券再発行申請書」を記入頂き接種。

### ● 受付スタッフ

1 スタッフが予診票を確認。未記入事項がある接種予定者は、予診票記入エリアへ誘導し、全ての必要事項を再度記入いただく。

※予診票内の項目5番目「かかりつけ医師に予防接種を受けて良いか確認をとったか」どうか未記入の被接種者に対する対応

①被接種者が「接種を受ける」と回答した場合  
→受付(予診票記入エリア)にて予診票に付箋を貼り、医師予診に回す

②被接種者が「接種を受けない」と回答した場合  
→そのままお引取りいただき、かかりつけ医師の確認後再度予約を取っていただく

2 受付スタッフは被接種者の下記内容を確認する。確認後問題なければ席番号札を渡し該当箇所へ着席いただくよう案内する。

- 接種券(接種券番号)
- お名前
- 生年月日
- 本人確認書類(身分証明書)

※本人確認書類を忘れた方は名前、生年月日・住所を接種券と照らし口頭確認でOK

※入場後外に出られなくなるので、トイレを済ませていただくように案内。どうしても外に出る必要がある場合は目印(紙バンド等)を着用させる。  
※予診票を上、接種券を下にして所持いただく。

※2回目の被接種者の方には赤いストラップを首からかけて頂く。(2回目接種案内をしなくても良い方と区別)

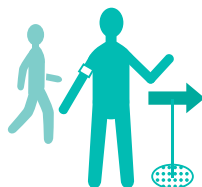
3 アレルギー疾患を持つ方には予診票に付箋を貼り、被接種者の首からブルーのストラップをかける。その方の待機時間は「30分」となるので経過観察スタッフは意識しておく。使用したボールペン類は適宜消毒を施す。



## ② クリニック方式 運営の流れ

### 3

誘導



#### ● 誘導スタッフ

1 受付を終えた被接種者を予診待機室へ誘導。

2 予診待機室の椅子には番号を振り、入室順で案内。

3 入室順に、空いた予診室に誘導。

※時間別の予約者が混在しないよう案内する(白札と青札で区別)

※早めに会場に来られることを想定し、2時間分の予約数の席を1時間ごとに分けて会場を構成(次ページAエリア / Bエリア参照)

### 4

予診室



#### ● 医師

医師が、予診票を基に問診を行う。問診後、被接種者を接種室へ進むよう案内。

30分待機が必要な方については予診票に30分と朱書します。

### 6

接種済証交付

- ロットナンバーシール貼りスタッフ
- 日付 / 会場の押印スタッフ
- VRS入力スタッフ
- タイマー渡しスタッフ

接種券にワクチンロットナンバーシールを貼り、接種済証を予診票へ貼る。

予診票を回収・VRSの入力および予診票にワクチンロットナンバーを貼りつけ、日付、会場名の記入(押印)。

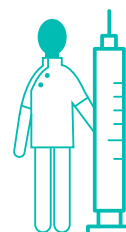
経過観察所のスタッフは接種者の番号を確認し、タイマーを渡す。(15分 or 30分) 30分待機が必要な方へは、ブルーのストラップをお渡しします。

経過観察のため、予診待機所の自席番号の席へ戻るよう案内。(クリニック方式)

※接種ができなかった人は、予診票に接種券(予診のみ)を貼り、新しい予診票と接種券を本人に渡し、帰宅するよう案内。

### 5

接種室



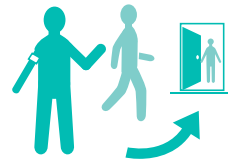
#### ● 看護師

看護師が接種を行います。被接種者の体調を確認し、接種済証交付へ誘導。

被接種者の体調がすぐれない場合は、救護室に移動させるか、医師に確認。

### 7

接種後待機所



- 誘導スタッフ
- 次回予約・副反応案内スタッフ

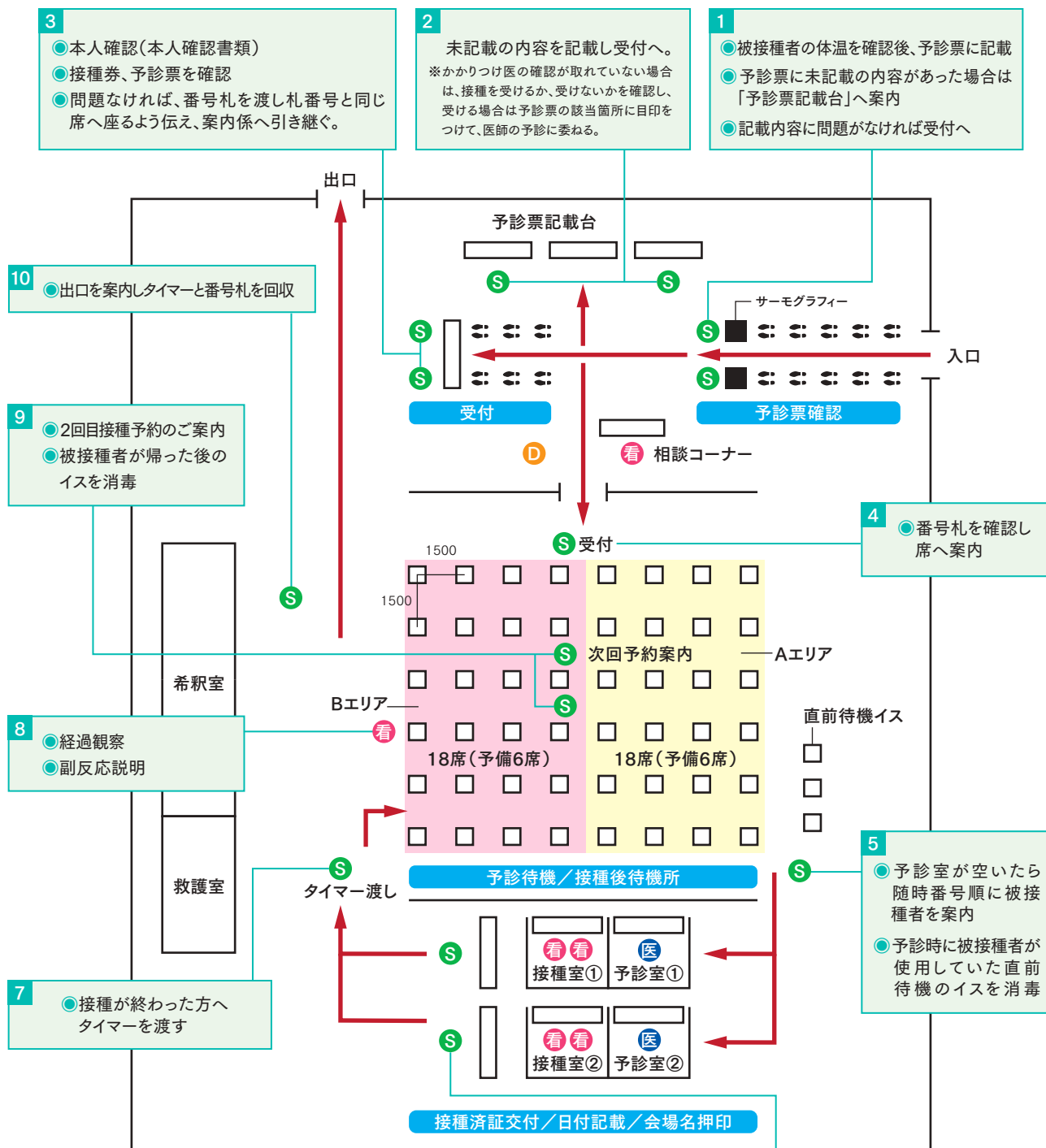
被接種者を自席へ誘導。次回予約、副反応の案内を行う。

タイマーが鳴ったら、経過観察係の看護師が健康状態に異常がないことを確認し被接種者に帰宅するよう案内。体調不良を訴える被接種者がいた場合は、救護室に移動させる。

※使用した座席は被接種者退場後に消毒を行う。

# ② クリニック方式 会場図(例)

【凡例】 医 医師 看 看護師 D ディレクター S スタッフ ← 被接種者導線



**■ 救護室**  
看護師が対象者のバイタルチェック、自覚症状の確認、アナフィラキシー症状の有無等を確認します。患者の状況によっては医師の診察、応急処置を行い、救急搬送の必要がある場合は、救急搬送を要請します。

**■ ワクチン希釈室**  
ファイザー社製ワクチンの場合、看護師がワクチンを規定量の生理食塩水で希釈し、必要量をシリンジに充填して、接種室へ運びます。

# マニュアルの取扱い / 問い合わせについて

## ● マニュアル取扱いの注意点

- ここに記載されている内容は参考例になります。  
人員、配置計画等は各自治体、会場にて最適化してください。
- 当マニュアルに関するお問い合わせは下記にお願い致します。

.....

マニュアル全般、運営に関するお問い合わせ  
株式会社Zero-Ten : <https://zeroten.jp/contact>

.....

運営管理：株式会社Zero-Ten

後援：アドバイザー 総合医療コンサルタント 黒田塾 代表 黒田 亮太